



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN

2005-2006年度RI会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

超我の奉仕



2005～06年度
第2590地区ガバナー
金杉 誠

SERVICE Above Self

会 長	山本 登	副 会 長	吉田 隆男
副 会 長	山木 幹夫	会長エレクト	小池 将夫
幹 事	江森 国一	クラブ会報	高田 修
S A A	吉橋佐千男	会 計	館野 典久

- 事務局 / ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL:(314)3900 FAX:(314)3555
- 例会日 / 毎週金曜日 0:30～1:30 PM
- 例会場 / ホテルキャメロットジャパン
- 創立記念日 / 昭和51年5月29日
- URL / <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail / kerc@beach.ocn.ne.jp

【クラブテーマ】
原点に回帰。そしてロータリーを楽しもう。



撮影 高田 修 会員

【白幡池公園（白幡町1番地）】

2005-06年度 第34号 週報NO.1453

2006年(平成18年)3月17日 第1453回例会記録 3月24日発行

司 会	飯田 泰之 副幹事
点 鐘	吉田 隆男 副会長
斉 唱	それぞそロータリー
幹事報告	横山 範夫 直前幹事

□例会変更のお知らせ

横浜保土ヶ谷R.C 4月18日(火)→移動夜間例会 点鐘 18:00

5月2日(火)→休会(定款第5条第1節適用)

横浜鶴峰R.C 4月8日(土)→6日(木)

夜間例会 点鐘 18:30

横浜鶴見西R.C 3月29日(水)→夜間例会 点鐘 18:30

4月19日(水)→創立30周年記念例会

点鐘 16:00

横浜北R.C 3月21日(火)→休会

(祝日・定款第5条第1節適用)

4月4日(火)→夜間例会 創立26周年記念

4月11日(火)→移動例会 職場訪問

□次々週31日(金)は夜間例会で、ホテルキャメロットジャパンにて点鐘18時となります。

□週報ご恵贈クラブ タウンニュース

委員会報告 西山 潔 親睦活動委員長

春の家族会を4月22日(土)に、社会奉仕、青少年奉仕委員会と3委員会合同で開催します。

出席報告 山田 正憲 出席委員長

会員総数	62名	(45 + 17)名	
出席会員数	38名	(29 + 9)名	
出席率	64.44%		
ゲスト	0名	ビジター	0名
前回補正後	95.56%	前々回補正後	88.89%

スマイルボックス 加藤 仁昭 副SAA

吉田隆男君 加藤さん、この前は大変お世話になりました。

橋本直生君 本日の卓話お聞き苦しいことと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

田中栄君 橋本さん、今日のインニシェーションスピーチ楽しみにしております。頑張ってください。

横山範夫君 橋本会員インニシェーションスピーチご苦労様です。

《3月24日》のプログラム

◆斉 唱 手に手つないで

◆献 立 ビーフストロガノフ

◆卓 話 「世界に挑む！」

～スピードスケート長野五輪勝利への道～

山崎 善也 会員

角田伯雄君 橋本さん、イニシェーションスピーチ頑張ってください。

古川陽太郎君 ①永井隆俊さん、昨日はお世話になり、有難う御座居ました。②橋本直生さん、イニシェーションスピーチ楽しみにして居ります。③須永さん、盧さん、先日はお世話さまでした。

森永正昭君 橋本先生、本日の卓話楽しみにして居ります。

長井章君 橋本さん、本日の卓話楽しみにしています。ガンバって下さい。

布施是清君 橋本直生さん、頑張って！応援してます！

山田正憲君 橋本さん、イニシェーションスピーチ頑張って下さい。

飯田泰之君 橋本直生会員、本日のイニシェーションスピーチ楽しみにしております。

川邊正男君 橋本さん、イニシェーションスピーチ楽しみにしています。

西山潔君 橋本直生さん、本日のイニシェーションスピーチ楽しみにしております。頑張って下さい。

3月17日	13件	26,000円
本年度累計額		1,785,790円

卓話

イニシェーションスピーチ

橋本 直生 会員



只今、ご紹介に与りました橋本直生です。会員である館野先生のご紹介をいただいて昨年7月に入会させていただきました。館野先生には会社を5年前に設立して以来顧問をいただいております。

ロータリークラブは色々な分野で功成り名遂げた立派な方のお集まりと認識しており、私のような若輩で未熟な者がこのような伝統ある高貴な会に入ることを許されるとは考えてもみなかったことであります。今も入会したことへの戸惑いと、会員である諸先輩方とこれから接していくことへの緊張感とで胸が一杯です。

私は経験も浅くつまらない話となり大変恐縮ではございますがお時間をお借りしてお話しさせていただきます。

私は昭和46年に横浜で2人姉妹の長女として生まれ育ちました。3歳年下の妹は現在31歳で松下電工に勤めています。私の父と母は四国松山市出身です。二人とも高等学校は夏目漱石の小説にある「坊ちゃん」の学校を卒業しました。父は大阪の大学院、母は京都の大学を卒業し、父が東京の化学会社に就職した為、上京し横浜に移り住んだそうです。父は9年前からシンガポールに出向して、現在も東南アジアにある5社の化学会社を経営しています。

私が幼少・少女時代は父はエンジニアだった為に平日は早朝から夜遅くまで仕事をしていて、休日も書齋に閉じ籠もることが多い生活でした。父とどこかへ出かけて遊んでもらったという記憶は数回くらいしかありませんが、私たち姉妹にとっては子煩悩な父親でした。そんな父に私が小学生から教えられ続けた言葉があります。

「人生には目標がないといけない。その目標に向かって努力をして近づいていると実感出来たときに充実感と生き甲斐を感じるものだ。自分で決めた目標からはどのようなことがあっても逃げてはいけない。」と少女時代から教えられてきました。私が困難に出会ったときには父の教えを思い起こして頑張っています。

一方、母は、純真な優しい母親です。教育に関してはかなり熱心な母親で、私は幼稚園年少時代からお稽古に通いました。3歳から小学校を卒業するまでの9年間習い続けたお稽古が5つあり、絵画、習字、クラシックバレエ、ピアノ、公文と平日は月曜日から金曜日まで習い事で埋め尽くされていました。私が幼稚園に通っていた頃、TVで手塚治虫の鉄腕アトムという漫画を見て、その頃の夢はお茶の水博士になることでした。幼稚園生の私はなぜかお茶の水大学を卒業すればお茶の水博士になれるものと思い込んで勉強に励んでおりました。今思えば最も机に向かった時期が幼稚園から中学に入学するまででした。このような家庭環境の中、二人姉妹の私と妹は両親からの愛情を全身に受けて何不自由なく伸び伸びと育ちました。

さて、私の名前である直生という字は「直線」の「直」に「生まれる」の「生」と書き二文字で「なお」と読みます。両親は女の子が生まれても男の子が生まれても「直生」と名付けようと思っていたそうです。

素直に信念をもってまっすぐに生きていって欲しいとの願いで名付けたそうです。残念ながら父と母のそのような願いを満

足させることにはならなかったようです。

人の性格は生まれた環境に影響されるといいます。小さい頃から自分で言うのも何ですが母の天真爛漫さを受け継ぎ、もう一方では父の影響か？もしくは亥年生まれからか猪突猛進などころがあり、好きなことを見つけるといつしか目標を定め、思い込んだら一直線に突き進むというところが良くも悪くもあります。

さて、社会人になり現在と同業である美術品小売業のギャラリーで8年間勤めました。このギャラリーでは営業で採用され5年目に店長に昇格しました。この店舗では常時8人の営業担当が勤めており、店長になるまでは営業に専念し、顧客への外商などをしながら展示会などで新規獲得に力をいれておりました。店長になってからの3年間は、営業のほか人事、新人研修、作品の仕入れ、額装依頼などが、日々の仕事となりました。この8年間は様々なお客様に出会い、美術品という商品がお客様との結びつきを強くするのか、今でも当時からのお客様ととても永い良いお付き合いをさせていただいております。8年間勤めたギャラリーを退職し、その後美術品卸業社で3年間勤めました。世界の美術品は1990年前後まではヨーロッパ、主にフランスに集まっていたのですが、ここ10数年前からはアメリカ、ニューヨークに集まっています。転職してからの3年間は絵画の買い付けを任せられ、一般のお客様から小売りギャラリーがお客様となり、ギャラリーへ営業に出かけていました。毎年ニューヨークでART EXPOという絵画の祭典が1年に1度催され、必ず出かけて行き、取り扱い作家や作品を増やすことに力を注ぎました。ART EXPOでは業者オンリーの日程が6日間組まれており、たいいてい8泊10日で渡米します。その中1日お休みをもらいいつもメトロポリタン美術館を訪れました。この美術館は他国の美術館との交換展をしていて、何度足を運んでも目新しく楽しめます。そこで8年前に出会った1枚の油絵があります。17世紀のオランダの作家、フェルメールが描いた油絵「真珠の耳飾りの少女（別名：青いターバンの少女）」という作品の目の前に立ったとき、その場で思わず目から驚く早さで涙が頬を伝わりました。フェルメールが生涯残した作品はわずかに35点とされています。その「青いターバンの少女」は人物画で、青いトルコ風のターバンを頭に巻いた17～8歳のオランダの少女を描いているのですが、目の表情があまりにリアルでした。痛々しいほど寂しげでかわやわげで無垢な瞳。そして何か言いたげで、その声を聞けるのであれば恐らく弱々しい穏やかな声のような感じがします。しかし少女の目の奥には突き抜けるほどの芯の強さがうかがえて、私の心にあっという間に入り込んできました。何か言葉では言い表せないほどの衝撃が私の心を突き動かしました。その時の感動は今でも忘れません。

さて、私と絵画との出会いをお話しします。私は3歳から絵画教室に通い出し、初めはクレヨンで、そしてデッサン、水彩画と習い、その後アトリエで油絵を習いました。同時に他に4つのお稽古ごとをしていましたが、絵を描くことはとても好きで、私なりに熱心に通っていました。

そして15歳になったある日にアトリエで居残り、デッサンの色づけをしていると、先生から「絵はある程度までは橋本さんのように努力で上手に描けるようになるけれども、選ばれし者になるには生まれ持った才能が必要だ」と言われました。確かに私は自分の目に映ったものをそれなりに真っ直ぐ描くことができたのですが、どう工夫をしても個性的な表現で描くことができず、それからしばらくして絵筆を持たなくなりました。そして私はこの業界に入り、5年前にお客様に芸術と感動を提供する側のアートの専門業者になろうと有限会社アークコムを設立いたしました。

当社は、ニューヨークの市場を拠点とする、主にヨーロッパやアメリカ出身の作家の版画、彫刻、原画を取り揃え、小さなギャラリーですが横浜・元町に常設店を構えています。

絵画は人に感動を与えてくれます。感性は人それぞれですので、その人その人の感性に響き感動を与えてくれる絵画や心動かす絵画との出会いの場を提供できたときが何より嬉しく感じる瞬間です。また絵の販売では、信頼と安心が何よりも大切です。後で大きく値を下げるような絵画を販売すると、お客様に失望を与えることとなりますから取り扱い作家や価格の提示には細心の注意を払っており、お客様の信頼を獲得することを目指しています。

絵画を通し私が受けたたくさんの感動をお客様にお伝えすることができ、また1枚の絵を通してお客様と出会い、共感を分かち合え、アートに感動する心を感じ合えることができたならば、この時、絵画を販売する仕事に従事していることに無償の喜びを感じます。

そして、この度この格式高い伝統あるロータリークラブへ入会させていただくこととなり、自分としてはまだ時期尚早と思っておりましたが、未熟者の私にとっては願ってもない成長の場となりますので、入会を決意いたしました。

皆様方のご好意を得て会員になれる名誉をいただきました以上は、これからもっともっと勉強して、会員に相応しい教養と人格を身につけるべく不断の努力をしなければと考えているところでございます。皆様におかれましては、これからはどうか厳しくまた温かいご指導を賜りますようお願いを申し上げます。私のイニシエーションスピーチとさせていただきます。

18. 会長エレクト研修セミナー

(President-Elect Training Seminar (PETS))
(2005年6月28日現在)

国際協議会後に、ガバナー・エレクトは会長エレクト研修セミナー（ペッツ）を開かなければなりません。このセミナーによって、クラブ会長エレクトは、次年度 RI テーマを理解し、ロータリー・プログラムを実施する準備が整うのです。PETS の主な目的は、クラブ会長が、RI 理事会が定めた効果的なクラブを創り、維持していくために必要な技能、知識および意欲を助長することにあります。

効果的なクラブとは次の四つです。

1. 会員基盤を維持、増強する。
2. 地域社会および他国の地域社会のニーズを取り上げた、成果に溢れたプロジェクトを実施する。
3. 資金の寄付およびプログラムへの参加を通じてロータリー財団を支援する。
4. クラブのレベルを超えて奉仕できる指導者を育成する。

プログラムは、次の主題及び学習目標を含め、ロータリーの内容に関する本会議とグループ別討議から構成されています：年次テーマの発表、クラブ会長の役割と責務、目標の設定、クラブ指導者の選出と準備活動、クラブの管理・運営、会員の勧誘活動とオリエンテーション、効果的な奉仕プロジェクト、ロータリー財団、参考資料や人材の活用、年度の計画などです。

PETS の参加者は、地区内のクラブ会長エレクト全員のほか、ガバナー・エレクト、ガバナー補佐、地区研修リーダーが含まれています。ガバナー補佐は、ガバナーを補佐して、自分たちが担当するクラブの会長エレクトが PETS に出席することを推進し、会長エレクト、ガバナー・エレクト、ガバナー補佐との間で、チームの団結を図らなければなりません。日程は3月中に1日半を充て計画されます。

ガバナー・エレクトは、PETS のプログラム全般に対し責任があります。地区研修リーダーは資格を持つ元地区ガバナーおよび地区委員会委員長から構成される地区研修委員会委員と共に、セミナーの計画と実施に責任を持ちます。

19. 国際大会

(2005年6月28日現在)

国際ロータリー年次大会は、会計年度の最後の3カ月間（4月、5月、6月）に、RI 理事会の決定する時と場所において、開催されます。年次国際大会の主たる目的は、国際レベルにおいて、全ロータリアン、特に、次期クラブ会長、ガバナー・エレクト、RI およびロータリー・クラブの次期役員を、鼓舞、激励しかつ情報

を与え、これによって地区レベルおよびクラブ・レベルにおけるロータリーの発展を活発に推進しようとする意欲をかきたてます。年次大会は、また、国際連合体の年一度の会合であり、連合体の業務を執り行います。国際大会は、ロータリー家族の世界的会合であり、国際大会の本来の目的を減じない限り、社交および余興番組でロータリーの親睦を祝うことは、妥当といえます。

この国際大会は、同じ国で3年続けて開かれることはできません。その開催計画の立案は通常4-5年位前から始まっています。これからの国際大会の開催地としては、2006年に、北欧のデンマーク・コペンハーゲンとスウェーデン・マルメで行われ、以後の予定としては、2007年米国・ニューオーリンズ、2008年米国・ロサンゼルス、2009年韓国・ソウル、2010年カナダ・モントリオール、2011年米国・ソルト・レークシティなどが候補地となっています。

RI 理事会は、ロータリアンが国籍だけを理由として参加できないことがないようにあらゆる努力を払い、まず、大体の開催地域を決め、その地域内の複数の都市に開催申し込みを呼びかけて、いろいろな手続きを経て、開催地の最終決定を下します。この国際大会において、加盟クラブの代議員によってRIの役員が選挙され、代議員は1クラブ1名となっていますが、会員多数のクラブについては、複数の代議員を送ることができる規定があります。

代議員は、自ら投票するほかに、委任状により代理者をたてることもできます。国際大会は本当に国際的な行事であり、参加者総数は、少なくとも、20,000人から35,000人のロータリアンとゲストが参加します。会員はみんな国際大会に参加してロータリーの真の国際性を発見するよう、早くから、ぜひ、参加の計画を立てるよう奨励され、参加者は、国際大会への参加は決して忘れることのできない経験となりロータリーの奥深さを味わうことでしょう。

✧✧✧✧✧ 担当者より ✧✧✧✧✧

会報委員 長井 章

いよいよ春ですね。三寒四温の季節となりました。

インターネットで「三寒四温」を検索してみたら、21,800件もヒットしました。あまりの多さにビックリして、中味は見ませんでした。

季節の変わり目、体調を崩さない様注意しましょう。

次回《3月31日》の卓話予定

「夜間例会」